

## 会議録

- 1 会議の名称 図書館協議会
- 2 開催日時 令和8年3月25日（水）午前10時30分～12時
- 3 開催場所 熊取町立熊取図書館 2階ホール
- 4 議題 案件1 令和8年度図書館事業計画について  
案件2 その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 1人
- 7 審議会等の概要

### ●案件1 令和8年度図書館事業計画について

#### 【事務局からの説明】

「図書館運営基本方針」として、「熊取町第4次生涯学習推進計画（改訂版）」及び「熊取町第4次子ども読書活動推進計画」に基づき、令和8年度の事業の中でも重点的に取り組むものについて説明した。報告した事業は、次のとおり。

- ①図書館リニューアル工事の実施 ②工事中の図書館サービス
- ③館外サービスポイントの拡充 ④熊取町第5次子ども読書活動推進計画の策定
- ⑤図書館システムの更新 ⑥リニューアルオープンイベントの開催

#### 【委員からの主な意見・感想等】

○書庫は手をつけないのか。また、書庫の大きさはどのくらいあるか。

→書庫は特に予定していない。ただ、本を箱詰めして収納する場所として使用している。現在、38万冊所蔵していて、書庫の5～6万冊の本が箱詰めされる。

○本は年間、何冊処分しているのか。

→購入冊数は7000冊前後、それと同じくらいの冊数を除籍しているので、微増している状況。

○予約本を受け取れるロッカーについて教えてほしい。

→予約本の受け取りを図書館と駅下にぎわい館に加えて、熊取駅の東西自由通路西側に新たに予約受取ロッカーを設置する。ロッカーを受取場所に選んだ方の予約本が用意できると、ロッカーの番号、暗証番号をメールなどで伝え、解錠して受け取ってもらう。取り置きは1週間、それを含めて3週間貸出する予定。

○駅下にぎわい館の現在の利用はどれくらいか。

→大体、本の予約利用の6%は駅下の利用で、そのうちの半分はこの4月から閉まっている月、火曜日と10月から閉まる予定の午後5時以降の利用なので、ロッカーを設置して対応することになった。

○工事中は、本の移動をしたり、学校や地域に出かけたりしながらも、今までどおりの貸出サービスを実施するのは、大変なことだと思うので、健康等に注意して作業してほしい。

○工事の期間は、職員同士のコミュニケーションが取りやすい可能性があるので、テーマを決めて研修するなどの機会を設けてほしい。

○次回以降の図書館協議会はいつ、どこでやるのか。

→来年度は、5月～6月、秋、来年の2月～3月を予定している。別の場所を借りて行う予定。

## ●案件2 その他

### 【事務局からの説明】

3月20日に東京学芸大学名誉教授の山口源治郎氏をお招きし、講演会「未来へつなぐ図書館—図書館の現在の展望—」を開催した。全国各地の図書館を例に挙げ、現在の図書館の実情について話していただいた。

アンケートの中から抜粋した参加者の感想を紹介し、参加した委員からもその場で感想をもらった。

### 【委員からの主な意見・感想】

○図書館を取り巻く環境が厳しいということがわかった。また、熊取図書館の取り組みが改めて素晴らしいということもわかった。たくさんの方が講演会に来て、心強い、応援団になってもらえるのかなと思った。鬼頭梓氏の設計した日野市立図書館が建物や取り組みも含めて、登録有形文化財へ登録された。熊取図書館も、これまで30年、司書、住民と一緒に頑張ってきて、今後、サービスも含めて文化財登録を目指して頑張っていたいただきたい。

○指定管理についてメリット、デメリットを知ることができた。データをしっかりと調べてどういう状況なのかを知って検討する重要性を感じた。

○業務委託になった場合、図書館が本を買っている地元の書店が潤わなくなってしまう。地域の活性化のためにも、図書館専任職員を確保し、司書の専門性を高める必要がある。

○全国的に正規職員、図書費が減らされている。職員と地域の人たちがひとつになってやっている図書館というのは少ない。そんな中、熊取がよくがんばっているということが講演から浮き上がってきたと思う。このがんばっている状況を全国に発信してほしい。

#### 【事務局からの説明】

○カウンターでのコミュニケーション記録について説明

前回の図書館協議会で、町のアクションプログラムの改革項目で、図書館の管理運営方法の検討が挙げられているため、現在職員が図書館利用者とのどのようなやり取りをしているのかを記録してはどうかという提案があり、実施。その内容を報告した。

○報告内容

本の案内、レファレンスは、利用者が図書館に来る主な目的でもあるためか、どの職員もよく聞かれていた。お知らせ、PRなどは、利用者に合わせたお知らせすべきことを察知できるようになっているため、経験年数が高い職員ほどよく行っていた。苦情は多くはない。天気の話、日常会話はどの職員もよく話していた。プライベートな話は児童室担当の職員、経験年数の長い職員が多く、子どもの成長を長く見守っていることで、信頼関係ができ、会話が生まれている。

#### 【委員からの感想・意見等】

○利用者の情報を収集することで、どのような本を図書館で購入するかを判断する材料になるので、利用者とカウンター業務の会話で得る情報は、資料提供への大きな要になり、大事にしなければならぬ。

○次回の図書館協議会は5～6月頃に開催予定。

8 審議会の情報	名称	図書館協議会
	根拠法令等	図書館法、図書館条例
	設置期間	平成6年4月1日～
	所掌事項	図書館の運営に関すること
	委員数	10名
9 担当課	図書館	